

グループ名	あつえ@JAPAN.
グループメンバー	
活動テーマ	弱音を吐かない。 let's 無人島クッキング

① 目的達成に向けて、実際に何をやったか

つり、火起こし、塩づくり、テントはる、料理
 して自給自足。

② やってみて気づいたこと、考えたこと

火起こししか思いついた以上に難しかった。 釣りも、よくしかつれなかった。
 塩づくりも、それ以上に蒸騰しなかった。 チーム内で意見が合わないこともあった。
 火起こしはナースがあつてついでに味たろう。

③ 仮説検証（自分たちの仮説は立証できた要因は何か、新しい視点が生まれたか）

自分たちで決めた目標を全て達成できたのは、常に「とにかくやろう」とチームが
 動いていた。

④ 実際にやったことか、どんな意味を持つか、役に立つか、どんなパートナーが必要か

水のありがたみをこの島より感じることで、水で飲むのを辞めた。
 「水はもと量を節約してほしい。しかし、水も欲しいと思つた瞬間は、水もあつたから、
 水のありがたみもチーム全員が感じるようになった。
 粘り強さにつながる。 チームを同質化するのではなく、粘り強さ。
 遭難した時に役立つ。目的にあった力を持っている。パートナーが必要

⑤ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は？

きれいな水を使いたい時に、水が足りない。 6, 3, 7 SDGs
 水の量は人任せだけど、つくるのはとても難しいから、水も活用してほしい。 12 SDGs
 火がないと、料理や塩作りが難しい。 1, 2, 3

グループ名	小籠包 2
グループメンバー
活動テーマ	知って広めるSDGs

① 目的達成に向けて、実際に何をやったか

- ・釣り(つりざおを作る) ・たき火
- ・ゴミ拾い
- ・おみやげ作り
- ・カレー、ご飯

② やってみて気がついたこと・考えたこと

- ・電気、ガス、水が十分ないと苦労することに気がついた。
- ・色々なものが無くても、代用して作れることが分かった。
- ・ペットボトルや発泡スチロール等のゴミが多い
- ・物を作るのは大変
- ・夜になると暗くなるので、ランプが必須

③ 仮説検証(自分たちの仮説は立証できた要因は何か、新しい視点が生まれたか)

限られた水や電気の中で、できるだけ無駄根拠いしないように協力し合、て利用したため大切に使うという気持ちが生じた。自分自身の手でゴミを見て、捨てることで、ゴミの分別やプラスチックの使用量を減らすという意識ができるようになった。竹やゴミ、貝からなどを集めて、釣り竿やアクセサリー等を作り、実際に使うことができたから、自然に優しいもので便利なものを作れることを知れた。つばんでも多く買うのではなく、必要分だけ買ったり、時には自然なもので作、て利用するという視点が生まれた。

④ 実際にやったことか、どんな意味を持つか、役に立つか、どんなパートナーが必要か

竹で釣り竿を作る(竹は持続可能資源であり、釣り竿に適していて、加工もしやすいため、環境に優しく、しっかりと釣りができる。海洋に詳しいパートナーが居れば、より本格的で釣れやすい釣り竿ができて、釣った魚について知ることができる。

ゴミ拾い → 海岸のゴミが減る。私たち自身の意識が変わる。

お土産作り → ゴミや貝を利用して作ることで、海をきれいにできるうえに、かわいくて頑丈なアクセサリーが作れるため、人の笑顔も見れる。

⑤ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は?

海のゴミが多い → SDGs 14「海の豊かさを守ろう」

SDGs 17 → (・1人1人が気づいたゴミを捨てるように意識する
・できるだけゴミがでないような工夫し、気をつける、)

安全な水やトイレが利用できない人がいる → SDGs 6「安全な水とトイレを世界中に」
(・先進国の日本が、水やトイレやお金を寄付する、
・自分達も水を大切にすることも心がける、)

まだ使える物を使い切らず捨てている人が多い → SDGs 12「つくる責任、つかう責任」
(・再利用できるようなものを使う、
・責任を持って物を作る、)

グループ名	水202 }
グループメンバー	カ、イ、ロ、リ、マ、メ、フ、ノ、ハ、ル、ト、ク、ニ、シ、ン、ダ、カ、ン、プ、リ、ー、ダ、ー、キ、ャ、ン、プ、ノ、リ、ン、グ、ル、ー、シ、ー、ト
活動テーマ	自然での体馬食を通して、資源の大切さを伝えよう。

① 目的達成に向けて、実際に何をやったか	<p>都会ではあたりまえにあるものを一から自分たちで作った事がないといけない場所で、火を自分たちで「おこす、海水から土釜を作る、海岸のゴミ捨いやなど、普段しないことをした。</p>		
② やってみて気づいたこと、考えたこと	<p>普段でできない体験をし、豊富な自然環境にふれることで、塩や真水等の存在が前提となっている資源の生成の難しさや貴重さを正しく認識することができた。</p>		
③ 仮説検証（自分たちの仮説は立証できた要因は何か、新しい視点が生まれたか）	<p>資源の貴重さを実感し、生活で使う資源に対する価値感を変えることが出来る。 仮説立証の一番の要因は日常から非日常の生活を体験したことであり、新しい視点としては身の回りのおよぶもののルーツについて考えることであることがあった。</p>		
④ 実際にやったことか、どんな意味を持つか、役に立つか、どんなパートナーが必要か	<p>よく言われる「矢印でできるよ」になったつもりで火を起してもいざやってみると、火の維持や強化などがとても制御できなかった。このことから、何かを、豆莢で、理角解して、終るのでではなく何度でも挑戦することによってその矢言説は、「生きた矢言説」となることがあった。あえて抽象的に必要なパートナーを表すなら「挑戦を忘れない人」</p>		
⑤ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は？	<table border="0"> <tr> <td> <p>ゴミ捨い → 14、15 ウイホタル → 14、17 塩作り → 4、12 フクセカリ → 12、14、15</p> <p>今回の自然の体馬食を通して、8番、11番の項目が一番日本票と、関連がある。</p> </td> <td> <p>・言葉是恩 ゴミがたまっていくと海も陸も大変なことに。 ・角解决策 ゴミ捨い → 定期的にごみ捨いを、する。 ウイホタル → 糸色減してしまつたら環境保全をする。 土釜 → タクの水で「少ししか」不潔な節系する。</p> </td> </tr> </table>	<p>ゴミ捨い → 14、15 ウイホタル → 14、17 塩作り → 4、12 フクセカリ → 12、14、15</p> <p>今回の自然の体馬食を通して、8番、11番の項目が一番日本票と、関連がある。</p>	<p>・言葉是恩 ゴミがたまっていくと海も陸も大変なことに。 ・角解决策 ゴミ捨い → 定期的にごみ捨いを、する。 ウイホタル → 糸色減してしまつたら環境保全をする。 土釜 → タクの水で「少ししか」不潔な節系する。</p>
<p>ゴミ捨い → 14、15 ウイホタル → 14、17 塩作り → 4、12 フクセカリ → 12、14、15</p> <p>今回の自然の体馬食を通して、8番、11番の項目が一番日本票と、関連がある。</p>	<p>・言葉是恩 ゴミがたまっていくと海も陸も大変なことに。 ・角解决策 ゴミ捨い → 定期的にごみ捨いを、する。 ウイホタル → 糸色減してしまつたら環境保全をする。 土釜 → タクの水で「少ししか」不潔な節系する。</p>		

グループ名	そうめん 4
グループメンバー	
活動テーマ	自然とゴミから物を作って無人島を満喫しよう

① 目的達成に向けて、実際に何をやったか

- ・無人島のゴミを拾った。
- ・竹を竹林から切り出し、竹の箸、皿をつくった。(流しそうめんもした)
- ・暑さ対策のために海に入り、自然の豊かさを感じた。

② やってみて気づいたこと・考えたこと

- ・ペットボトルやごみ袋、発泡スチロールのゴミが少なかった。
- ・想像していたより竹の箸、皿が使える
- ・たき火をすることで、火のありがたさを感じた。

③ 仮説検証(自分たちの仮説は立証できた要因は何か、新しい視点が生まれたか)

- ・ゴミひろい → 島のゴミの数を減らし、海への流出を防いだから。
- ・食器づくり → 竹の有効活用はできたが、持続させるには植林などの活動が必要。
- ・たき火、か-など → 普通のキャンプでは出来ない体験ができた。

④ 実際にやったことか、どんな意味を持つか、役に立つか、どんなパートナーが必要か

- ・ゴミひろい → 島の環境を保全し、小さい所からSDGsに貢献する
- ・食器づくり → 環境にいいもので食器をつくり、持続可能な社会をつくる
- ・たき火、か-など → か-、水道、電気が整備されていない場所で自給自足をする事で環境に適応する能力を身につける。
- パートナー → 自分で考え行動できる、知識がある、力がある、コミュニケーションがとれる

⑤ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は?

- ・グループ間での情報共有(連携) → 時間と集合場所を決める
- ・役割分担による作業の効率化 → 手が空いている人を作らないようにする
(やることリストを作る)

[SDGs 12, 13, 14, 15, 17]

- 12 → 竹の食器づくり
- 13, 14, 15 → ゴミひろい
- 17 → 活動全体を通して

グループ名	グニ (5期生)
グループメンバー	
活動テーマ	魚は本島にマイクロプラスチックを取り込み、海に流出 → ゴミの分類 → アクセサリー作り

① 目的達成に向けて、実際に何をやったか

魚つりをした。(遠くまで)、ゴミを3つ(おうとた、貝からを集めた(アクセサリー-製作))
 4夜つり、つりがおそろい、エビの殻も通して → ゴミがばらばら

② やってみて気づいたこと、考えたこと

魚つりが難しい(フグしかいない)、思っていたよりゴミが少なかった。大変 他のやり方との兼ね合い
 夜つりが見えない、グループでの情報共有が不可欠、本番でも意外と怖かった。おもしろい、実がやわらかい、
 かなり長い、かなり遠かった。午後はかなりあった。足場が悪い、塩辛いのはおもしろい、おもしろい、おもしろい、
 フリマシエ、おもしろい、コミュニケーション

③ 仮説検証(自分たちの仮説は立証できた要因は何か、新しい視点が生まれたか)

- ① 魚が食べた、マイクロプラスチックを取り込み → フグを食べれば(見ない) → フグ以外ではなかった
- ② ゴミを3つ → それぞれゴミがばらばら → ちらばった木が釣りにくい (作ってはおもしろ)
- ③ アクセサリー作り → つり針、泳いでいる時や油断すると、足がくずれやすくなる

④ 実際にやったことか、どんな意味を持つか、役に立つか、どんなパートナーが必要か

カレーをいかに美味しくかた、エビがイモがけにかたから今夜カレーはかき、
 火おきの手順がよくなる、エビの蒸し、干潮(=)理解できた
 骨の大切さを身付け、エビの殻も
 ↳ 気分転換や、小腹が満たす、トバありがた
 ショートの大事さ、身体を清潔に保つことが大事だと感じた。水が有限だと不便な思いを、

⑤ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は?

汚いトイレがあるのは不衛生、SDGsの6、衛生、水、エネルギー、
 ↳ 上水、下水の整備、新しいシステムを作る、
 ↳ 食料の確保、おもしろい、
 ↳ 夜中明かりがなかったら困った、
 ↳ 虫が怖く、
 ↳ 夜中電灯を消す、
 ↳ 7の目標が達成でき、
 ↳ 17の目標が達成でき、計画を立てる、Todoリスト

グループ名	6期生 ホットピジョングループ
グループメンバー	
活動テーマ	無人島で自給自足生活

① 目的達成に向けて、実際に何をやったか

SDGs 2. 飢餓 → 塩づくり (釣り)
SDGs 6 → 真水づくり
SDGs 12 → シーグラス → 竹の利用

SDGs 14 → ゴミ拾い → 釣り

② やって来て気づいたこと、考えたこと

塩づくり... 塩をつくらなかった時でも大変な経験。普段の生活の中でも、色々な物を大切にするように思えた。(成功した、幸せが、時間があったことのおかげでできた)

釣り... 釣れなかった。工夫が用意すると大変だった。簡単に魚を獲ることができた。海が綺麗で、いつもよりきれいな海に感じた。ここは大切な場所だと思えた。

真水づくり... 難しかった。予定していた方法ではできなかった。普段の水の大切さを感じた。水道水... 時間があったら、もっと活動できるかな。シャワーは意味がなかった。

③ 仮説検証 (自分たちの仮説は立証できた要因は何か、新しい視点が生まれたか)

竹の利用... 竹の活用が思ったより多かった。→ あまり使わなかった。→ 竹の活用が思ったより多かった。竹の活用が思ったより多かった。竹の活用が思ったより多かった。竹の活用が思ったより多かった。

ゴミ拾い... 時間があったら、もっと活動できるかな。シャワーは意味がなかった。

新しい視点 → ビジョンのゴミを捨てる人が多くなった。→ 見つけてきたゴミを捨てる人が多くなった。見つけてきたゴミを捨てる人が多くなった。

④ 実際にやったことか、どんな意味を持つか、役に立つか、どんなハードワークが必要か

塩づくり → 塩 (塩分) の大切さを学ぶ。火の番をする人も決める、交代の回数も決める

釣り → 獲ったものの大切さを学ぶ、海の大変さを学ぶ。釣れた魚は他のメンバーにあげる。

真水 → きれいな水を飲む。水の大切さを学ぶ。浄水器の仕組みを学ぶ。

シーグラス → ネットの情報収集は必要。→ ネットの情報収集は必要。→ ネットの情報収集は必要。

竹の利用 → ものつくり方を学ぶ (竹の加工など) / 竹を捨てる → 竹の活用が思ったより多かった。

ゴミ拾い → ゴミがあったら、ゴミを捨てる人が多くなった。→ ゴミがあったら、ゴミを捨てる人が多くなった。

⑤ 活動を通して、考えられる課題やその解決策、そしてSDGs17の目標との関連は?

今年はSDGs達成までの折り返しの年なので、もっと気を引き締めよう。

- ゴミ拾い → ゴミを海に捨てる人が多く存在している。→ ゴミを海に捨てる人が多く存在している。
- 真水づくり → 飲める水が簡単に手に入る (水道) → 水が貴重で、節約が必要。
- 竹の利用 (SDGs 12) → 物を長く使えるように工夫する。
- シーグラス → ビジョンを捨てる人がいる。
- 釣り → 魚が獲れない海にするためには、環境を整える必要がある。
- 塩 → きれいな海にする、維持する。